

北八下校区

第1号

(平成29年度版)

元気っ子だより

発行:八下中学校区青少年健全育成協議会 広報誌編集委員会



稻穂とたわむれるやしモン♪(広報誌編集委員 澤田佳知 撮影)

八下中学校区
青少年健全育成協議会
会長 関谷俊紀

「桃太郎は鬼ヶ島に行き、鬼を退治しました」。だれもが知っているこの昔話を、鬼の立場からも考えた授業をする中学校があります。もし鬼に子どもがいたら……。この仮説に生徒たちは、桃太郎と鬼の両方の視点から議論したそうです。

一方、社会生活においては「自分が正しく、相手が悪い」という思い込みや決めつけが人間関係をこじらせてしまうことも。「相手の立場も考えてみる」。ご近所付き合いや親子関係を見つめ直してみる大切なヒントになるのかもしれません。

北八下校区自治連合会 会長 藤木耕造

このたび『北八下校区 元気っ子だより』を発行されることに深く敬意を表し、平素から少年の非行防止と健全育成にご理解とご協力をいたしております皆様に心から感謝を申し上げます。

地域社会において、子どもの健やかな成長を見守り支援する気運を醸成することが重要であり、社会全体で取り組むことにより大きな成果が得られるものです。少年の非行防止と健全育成に尽力されている皆様方は大変重要な役割を担つており、今後ともご活躍を期待します。



青少年健全育成協議会

この一年



「青少年健全育成協議会(健育会)」って???

堺市内の中学校区単位に設置され、その目的は「校区の子どもの健全育成にむけた取り組みを推進すること」です。そして本協議会は自治連合会、各町会、福祉委員会、民生委員児童委員会、主任児童員、スポーツ推進委員会、こども会育成協議会、交通指導委員会、防犯委員会、防災委員会、北堺少年補導員、老人クラブ、まち下中ギター部

づくり協議会、各町会の補導委員長、青少年指導委員会、保護司、八下中学校、北八下小学校、北八下幼稚園、八下中学校PTA、北八下小学校PTAおよび北八下幼稚園PTAで構成されています。

活動の経費は堺市の補助金でまかなわれており、「堺元気っ子づくり推進事業」の名のもと、主に下記の事業を行っています。

元気っ子フェスティバル

堺市の施策「元気っ子づくり推進事業」としてPTA・子ども会・青少年指導員が中心に、運動会とフェスティバルを隔年開催し、今回で15回目になります。子どもたちにわが町(北八下)をふるさとと思って欲しい。そのためには、地域の子どもと大人が一同に集まり、体験して感動する、みんなと一緒に楽しさを共有するレクリエーション事業を行い、お互いにネットワークを育むことが大切と思っています。

今年度は9月16日に北八下小学校でフェスティバルを開催しました。500名を超す参加があり、八下中学生もスタッフとして大活躍してくれました。

内容は以下の通りです。(1)八



ため⑨ミニ鉄道は中止になりました。
このように、わくわく!好奇心を持って、自ら体験して仲間と楽しさを感動することが、豊かな心と生きる力を育むと思っています。
来年度は、運動会です。沢山の参加をお待ちしています。
(元気っ子実行委員長 榴田博)



第2回健育会（研修会）

12月5日、八下中学校図書室において研修会が開かれ、堺市教育委員会指導主事の木田哲生先生に子どもの生が輝く「みんいく」をテーマに講演いただきました。

規則正しい睡眠をとることで自律神経が整い、生活リズムの改善が登校改善に繋がるというお話で、幼児期からの眠育が効果的であるとのことです。

（健育会理事 綱野尋昭）

通学路清掃



8月20日、午前9時半といつてもすでに炎天下。そんな中、通学路清掃が行われました。

この清掃は毎年、自治連合会、福祉委員会、八下中学校、北八下小学校、北八下小学校、北八下幼稚園、そ

（健育会会长 隅谷俊紀）



『北八下校区 元気っ子だより』第一号が発刊となりました。
今年度発足した編集委員会は7名で構成され、全体会議や取材活動を繰り返しながら、この北八下校区の活動や素晴らしい点を少しでも多くの方に伝えたい、そんな思いで一丸となり作成しました。

取材陣を見かけた場合はお気軽にお声掛けください。

（広報誌編集委員 松田大佑）

花いっぱい運動

子どもたちが通っている学校や通学路を子どもと大人が協力して花いっぱいにしています。これは「ホツとする学校づくり」を自ら創つていこうという活動です。幼稚園、小学校、中学校の各学校園で取り組んでいます。



えて、花いっぱいにしています。

（八下中学校教頭 浅野浩司）

広報誌編集委員会



超えてつながろう！



校区探検で地域の方々と交流

わたしは浅田さんの畑に見学に行きました。大きなビニールハウスの中に入るとすごく暑くて、聞いてみると、30度をこえていると言っていました。こんな暑い中で作業をして、たいへんだと思いました。

(3年2組 野村有希乃)



大泉緑地は北八下幼稚園の子どもたちにとって、なくてはならない第二の園庭です。加呂登池での古代米づくり、池の中の生き物探し、石澄みの丘での自然物を使った制作やロープ遊びなど、子ども

大泉緑地での活動を通して

たちは五感を総動員して遊んだり、学んだりしています。四季を通じて自然と触れ合い、人と触れ合い、親子の絆を深める大切な場所です。

(PTA会長 矢野有香)

親子ともにドキドキしながら取り組む古代米づくり。親子で同じ体験を通して、毎日食べるお米の大切さを実感できることは、今後の親子関係を築く土台の一部になります。

(園長 安藤寿美子)



地域の方々と古代米づくり

古代米づくりに関わってくださった地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、麹種から芽が出て大きくなり稻穂が育っていくように、子どもたちだけでなく保護者の方や職員も、幼稚園の中で一緒に育つて

いきたいです。

（園長 安藤寿美子）

古代米づくりに関わってくださった地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、麹種から芽が出て大きくなり稻穂が育っていくように、子どもたちだけでなく保護者の方や職員も、幼稚園の中で一緒に育つて

学校園・世代をつなぐ



僕が担当したのはイルカショー。他にも3人いた。子どもたちが集まって来て、いよいよ始まる。あ、イルカがいない。みんなが僕を見ている。イルカ役をやらされた。イルカなんてあんまりみたことない



北八下幼稚園で保育実習

私は、中学生スタッフとして、元気っ子フェスティバルに参加させていただきました。最初はちゃんと小学生に科学の実験のやり方を教えられるかな?と思つたけど、店番をして、みんなに科学はおも

元気っ子スタッフになつて



いし、服もぼうしも子どもたちのでピチピチ。分からないので、ねたり輪くぐりをしていると、ものすごくウケた。おお。ありがとうございます子どもたち。君たちのおかげで、僕は学んだ。

「いきおいが大切である。」

(3年1組 武田修斗)

しろいものだと作りながら伝えられたと思います。

フェスティバルによつて、私が学んだことは、小学生や小さい子どもたちに「ありがとう」と言われて、教えることや助けることが大切だと学びました。

(2年1組 小島瑞希)



PTAとしては「簡単ミサンガ作り」を企画し、保護者の方々にたくさんボランティアとして参加していただきました。たくさんの子どもたちが、ミサンガを作りに来てくれました。来てくれた子どもたちが、ミサンガを作りました。たくさんボランティアとして参加していただきました。たくさんの子どもたちが、ミサンガを作りに

もたち全員に作り上げた喜びを感じて欲しいと、教える保護者の方々も一生懸命でした。

「できた!」という子どもたちのキラキラした笑顔に、私たち保護者も笑顔になり、楽しく子どもたちと交流ができました。

(PTA副会長 近藤紀江)

北八下フェスで親子交流

北八下校区 あれこれ



地域防災訓練

3年ぶりに起震車を設置



9月10日、北八下小学校にて地域防災訓練が行われました。

大規模災害を想定した今回の訓練では、地区別の避難訓練、初期消火訓練、救護訓練、煙体験等が実施され、また地震を体験できる起震車が3年ぶり設置されました。実際に「震度7」を体験した小学生は「今日は揺れることができた」と。

防災委員長の宮下一さんは「災害はいつやつて来るか分からないので、もっともっと参加してほしい」とおっしゃっていました。

(広報誌編集委員 隅谷俊紀)



堺まつり

北八下幼稚園児ダンス披露



10月15日、第44回堺まつりにおいて大パレードが行われ、北八下幼稚園の園児たちが元気に参加してくれました。

あいにくの雨の中、お花の五十嵐輝子先生や保護者の方々の手作りの衣装を着て、やしモン♪ダンスを約1km、35分間、見事に踊りました。

子どもたちからは「たのしかった」と、保護者からは「とても良い経験が出来た」と感想がありました。

(広報誌編集委員 網野尋昭)

堺市民オリンピック



小学校区代表チームと対戦しましたが、健闘むなしく敗れました。

毎年体育の日に「堺市民オリン

10月9日に開催された「堺市民オリンピック」ソフトボールの部において、北八下校区

代表として南花田町体育育成会チームが参加しました。

大浜中学校で、準優勝した強豪の榎木が参加しました。



南花田チーム出場



ゴルフ)が実施されています。

(広報誌編集委員 阪本昌英)

ポートボール ANGELS堺市大会優勝



世代を超えて今年度も大成功



8月3日に金岡公園体育館にて開催された「中央スポーツ大会」ポーツボールの部において、北八下の「ANGELS」が優勝しました。この大会は堺市の各区代表が競い合う、子ども会の中でも一番大きな大会です。過去何回か挑戦しましたが、初めての優勝という快挙を成し遂げました。キャプテンの弘中小柳さん（6年）は「うれしかった。これまでの努力が報われた。」と笑顔で喜びを語ってくれました。

（広報誌編集委員 阪本昌英）

11月26日、北八下小学校において、第4回北八下校区絆フェスが開催されました。

体育館では、北八下幼稚園児のやしモン♪ダンス隊、老人クラブの銭太鼓、北八下小4年生の南中ソーラン、八下中ギター部のバンド演奏、八下中OBの高校生バンドなど地域有志に加え、ねこじやらしさんの人形劇とテレビでお馴染みの漫才コンビの

爆笑パフオーマンスで盛り上がりました。

のど自慢大会で、

中学生女子が「お婆ちゃん」が好きなので」と森昌子の「せんせいい」を歌つたのは、まさに世代を超えて

つながろうのテーマ

にピッタリでした。

屋外では、各町会による模擬店開催と

福祉委員会による子



大泉緑地をはじめ全域巡回

校区巡回



9月22日・2月9日、幼小中の先生、青少年指導員、各町会の補導委員長による校区巡回を実施しました。

南花田町、中村町、野遠町、八下北、大泉緑地を巡回し、異常がないことを確認しました。

この校区内は安全な地域です

が定期的な巡回や皆さんの気づき、声掛けなどにより維持されていることだと思います。これからも皆さんのご協力よろしくお願いいたします。

（青少年指導員 古場俊）





校区たんけん

～竹内街道～



大泉緑地の南側から八下中学校の前をとおり野遠町から松原市に抜ける道路が、「竹内街道」です。この道は、約 1400 年前の推古天皇の御代に「難波より京に至る大道を置く」と日本書紀に記されており、これが今の竹内街道とされています。

日本最古の国道！？

ちんちん電車の大小路駅近くを始点として、奈良県葛城市的長尾神社まで繋がるこの大道は、時代とともに役割を変え、活き続けてきました。古代には飛鳥と大陸を繋ぐ「外交の道」として、大陸からの使者や日本からの遣隋使や遣唐使たちが行き来していました。中世には「信仰の道」として、聖徳太子ゆかりの施設が多くあり、聖徳太子を信仰する人々の道でした。室町時代の後半には、対外交易で富を築いた「海の堺」と大和を繋ぐ「経済の道」として重要な意味を持っていました。

鉄道の開通などによりその重要性が薄れ衰退



し、旅籠や茶店が姿を消していきました。聞くところによると、昭和初期まで野遠町の沿道に芝居小屋があったようで、これも賑わいの名残りなのでしょう。

竹内街道沿いには歴史を感じさせる町並みや神社・お寺など数々の資源が点在しています。いにしえの人々が、街道を往来した当時に思いを馳せ、魅力を感じながら街道を歩いてみてはいかがでしょうか。

(広報誌編集委員 澤田佳知)

編集後記

『北八下校区 元気っ子だより』第1号を発行することができました。今年度、八下中学校区青少年健全育成協議会のなかに広報誌編集委員会を立ち上げ、校区の情報を発信すべく、編集委員 7 名が取材・会議を重ね作成しました。今後、さらに第 2 号、第 3 号……へとつなげていくため、校区内の皆さんにもご協力いただきますようお願いいたします。(広報誌編集委員長 隅谷俊紀)

『北八下校区 元気っ子だより』 第 1 号 (平成 29 年度版)

平成 30 年(2018 年)3 月 1 日発行 (発行部数 3500 部)

発行：八下中学校区青少年健全育成協議会 広報誌編集委員会

事務所：堺市立八下中学校内

〒591-8012 堺市北区中村町 977-20 電話 072-252-0412

広報誌編集委員

網野尋昭

隅谷俊紀

阪本昌英

古場 俊

櫻田 博

松田大佑

澤田佳知